

研究・調査報告書

報告書番号	担当
100	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Alcohol, coffee, and bladder cancer risk: a review of epidemiological studies. アルコール飲酒やコーヒー摂取と膀胱癌リスクに関する検討 複数の疫学研究結果をもとにした総合的検討	
執筆者	
Pelucchi C, La Vecchia C.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Eur J Cancer Prev. 2009;18:62-68	
キーワード	
飲酒、コーヒー、膀胱癌	
要 旨	
<p>目的： アルコール飲酒やコーヒー摂取と膀胱癌の関連について検討した複数の疫学研究を総合的に再検討する</p> <p>方法： Medline のデータベースによりアルコール飲酒やコーヒー摂取に関する情報を有する膀胱新生物の観察研究を収集し、膀胱癌の危険因子についての総合的検討の資料として引用可能である研究を選出した。</p> <p>結果： 複数の疫学研究を総合的に検討したところ、コーヒー摂取と膀胱癌の関連は否定的であった。いくつかの疫学研究では、コーヒー摂取者ではコーヒーを摂取しない者に比較して膀胱癌の中等度リスク上昇を認めることを報告している。しかし、コーヒー摂取量が増加すると膀胱癌リスクが上昇するという傾向は確立されていない。また、アルコール飲酒も膀胱癌と関連を認めないことが示唆されたが、その結果は複数の疫学研究において必ずしも一致していなかった。</p> <p>結論： アルコール飲酒とコーヒー摂取という二つの習慣に関して、いくつかの疫学研究で認められた膀胱癌の中等度リスク上昇には、喫煙等の他の交絡因子や、アルコール飲酒とコーヒー摂取と膀胱癌の未知の危険因子の関連、が関与している可能性がある。</p>	